みなとみらい・横浜における音楽施設の集積と 「音楽の街」の確立へ向けた取組について

令和6年11月5日 財務省関東財務局 横浜財務事務所

1. 全国及び神奈川県におけるライブ市場の動向



- 2021年以降、全国・神奈川県ともに公演数は回復及び増加傾 向にある。
- ●神奈川県における公演数は2021年以降に急拡大しており、 2023年にはコロナ禍前の2019年と比較しても2倍以上に増加 している。
- 2019年から2023年への公演数の増加率では、神奈川県が全国 トップとなっている。

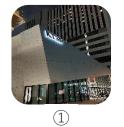
※出典元: (一社) コンサートプロモーターズ協会

2. みなとみらいにおける音楽施設の集積

番号	施設名	開業年	
1	KT Zepp Yokohama	2020年	2020年以 みら み 音 終 相 次 き で て い ま で で で で で で で で で で で で で で で で し て り て で し て り し て し て し て し て し て し し て し し て し し て し し て し し て し し て し
2	ぴあアリーナMM	2020年	
3	Billboard Live YOKOHAMA	2020年	
4	Kアリーナ横浜	2023年	N R O C

条、みなと 刀では新た 受の開業が 音楽施設が る。











財務省関東財務局 横浜財務事務所 担当:小貫馨

問い合わせ先:財務課(経済調査担当)

(注意) 本レポートの内容は筆者の個人的見解です。

【謝辞】本レポートの作成にあたり、

ご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。



3. みなとみらいにおける「音楽の街」へ向けた取組



Music Port YOKOHAMA

多様な音楽施設の集積を生かし、音楽を軸とした環境を整備することにより、横浜を音楽の街として活性化する取組。(音楽事業者等の民間企業、行政、エリアマネジメント団体 計17者が参画)

公式HP: https://musicport-yokohama.jp/



みなとみらい STREET MUSIC

みなとみらい21地区で実施する、様々なジャンルのアーティストと会場(商業施設、ホテル、公共空間など)をつなぎ合わせ、ライブパフォーマンスを行う取組。

公式HP: https://musicport-yokohama.jp/street-music/



市内回遊企画

音楽施設で行われる各種公演・イベントと 連携した企画を市内で展開することで、音 楽施設以外の場所にも足を運んでもらう取 組。

4. 音楽施設の集積および「音楽の街」へ向けた取組についての声



一般社団法人横浜みなとみらい21

- これほどに多様な音楽施設が集積するとは思っていなかった。
- 回遊企画について、参加者から好評をいただいた。また、公 演主催者様からは街をあげての協力に驚かれた。
- ストリートミュージックについて、年々演奏会場が増えるなど、徐々に浸透してきていると感じる。



横浜市 都市整備局 みなとみらい・東神奈川臨海部推進課

- 街の歩行者ネットワークが完成していない現状では、一部で 歩行者の混雑・渋滞などが発生している。
- 音楽施設側の意向をふまえて、関係者と十分な連携を図りながら、交通誘導をはじめ各種調整を進めている。



横浜市 にぎわいスポーツ文化局 にぎわい創出戦略課

- 来街者にコンサートの前後も街を楽しんでもらうことが回遊 企画のきっかけ。
- 市と回遊企画における連携相手の双方にとってWin-Winな施策になっていることがポイント。
- 回遊企画には経済的な効果や人の分散効果があった。



ぴあ株式会社

- 開業当初、ぴあアリーナMMは厳しい立ち上がりだったが、 現在では土日祝日は1年半先まで予約が埋まっている。
- 各音楽施設は規模が異なり、棲み分けがされていると感じる。
- 音楽の街としてブランディングしていくことは重要であり、 他の施設も巻き込んで音楽イベントなどを行っていきたい。

5. 「音楽の街」としての今後の展望

音楽と技術の融合

- みなとみらいには企業 の研究開発拠点も集積 しており、それら企業 の技術と音楽との融合 が期待される。
- 横浜未来機構主催の「Y OXO FESTIVAL2024」 では、立体音響を搭載 した自動運転EVバスの 実証実験もスタート。



大型フェスの開催

- みなとみらいには開放 的な公共空間も多く、 そうした空間と音楽施 設を利用したフェスの 開催も期待される。
- 2024年11月にはぴあア リーナMMにて、ぴあ フェスの開催が予定さ れている。



6. まとめ

ハード (音楽施設)の充実



ソフト (企画・施策)の充実



これからの取組



「音楽の街」としての確立が期待できる。



● アーティスト

横浜で公演を行うことがステータスになる。



● 来街者 (観客)

街全体で音楽を楽し めるため足を運びた くなる。

アーティスト・来街者の双方から選ばれる街へ

- 街の装飾や一体化を図ることでさらに選ばれる街へ。
- 音楽の街としての好循環が生まれることも期待される。